

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	身近な防災の取組みについて
調査期間	令和3年4月27日（火曜）～5月10日（月曜）
設問数	全6問（分岐設問除く）
対象モニター数	4,432名
回答モニター数	3,177名（71.7%）

【調査結果概要】

発災直後においては、まず自分で自分の身を守る方法を考えておかなければなりません。また、被害を小さくすることができれば、“いつも”の暮らしが取り戻しやすくなります。

このため、皆さまの身近な“備え”の状況などに関するアンケートを実施しました。結果については、今後の施策の取組みを考えていく上での参考とさせていただきます。

【食料品の備蓄】

食料品や飲料水を1日分以上備蓄していると回答した方は77.8%、内3日分以上備蓄していると回答した方は46.2%でした。

備蓄していないと回答した方は22.2%で、理由は、「必要だとは思っているが、まだできていないから」（46.1%）、「賞味期限や使用期限などの確認や買い直しが大変だから」（41.7%）、「備蓄を置く場所がないから」（27.0%）などがあがりました。

【食料品以外の備蓄】

食料品以外（携帯ラジオ、照明器具（懐中電灯・ランタンなど）、常備薬、毛布・寝袋など）の備蓄をしていると回答した方は71.5%でした。

【家具の固定・配置の工夫】

家具の配置を工夫したり固定したりしていると回答した方は、82.6%でした。

まったく固定していないと回答した方は17.5%で、理由は、「手間がかかるから」（29.6%）、「壁に穴を開けたくないから」（21.6%）、「固定が必要な家具がないから」（20.5%）、「費用がかかるから」（20.5%）などがあがりました。

【感震ブレイカー】

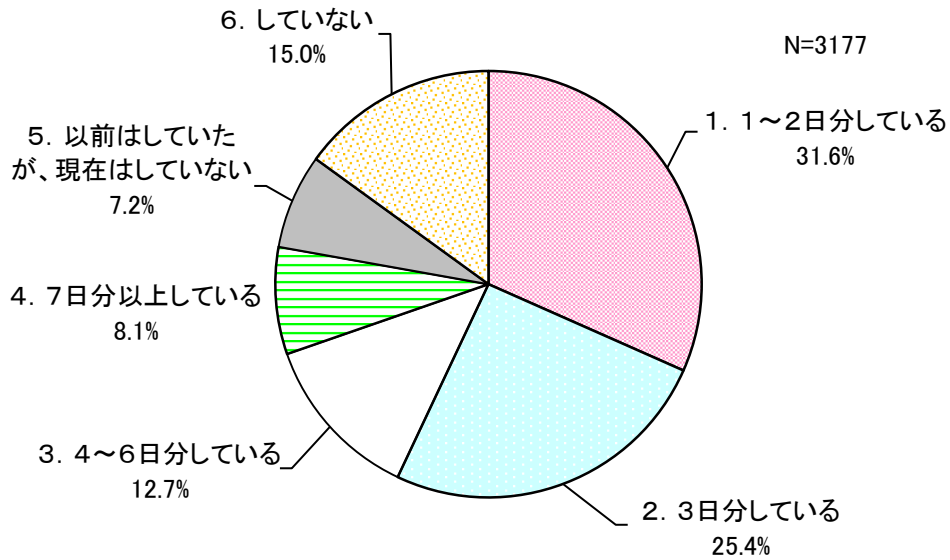
感震ブレイカー設置していると答えた方は、14.6%でした。

設置していないと回答した方は85.4%で、理由は、「設置方法がわからないから」（44.4%）、「費用が掛かるから」（36.5%）、「手間がかかるから」（14.4%）などがあがりました。

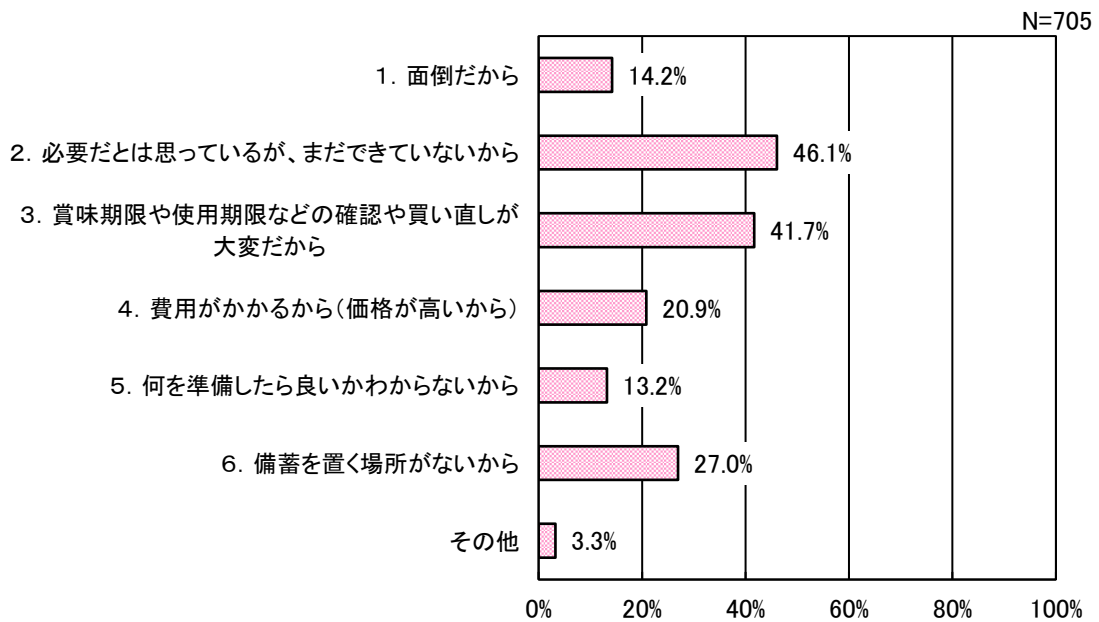
【災害時の避難行動や避難経路】

災害時の避難行動や避難経路をあらかじめ確認していると回答した方は72.6%でした。

問1 普段からレトルト食品などの保存の利く食料や飲料水を備蓄したり、普段のお買い物の際に少し多くの食料品を買い置きしたりするなど、災害に対して何日分の備蓄をしていますか。



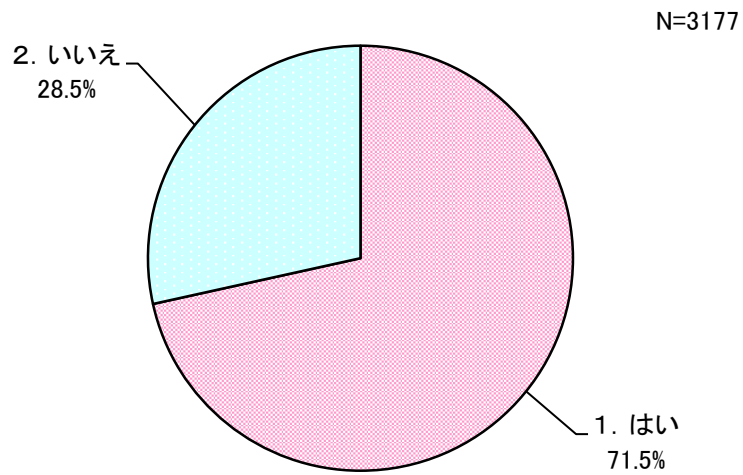
問1-1 備蓄していない理由を選択してください。(特に大きな理由を3つまで選択)



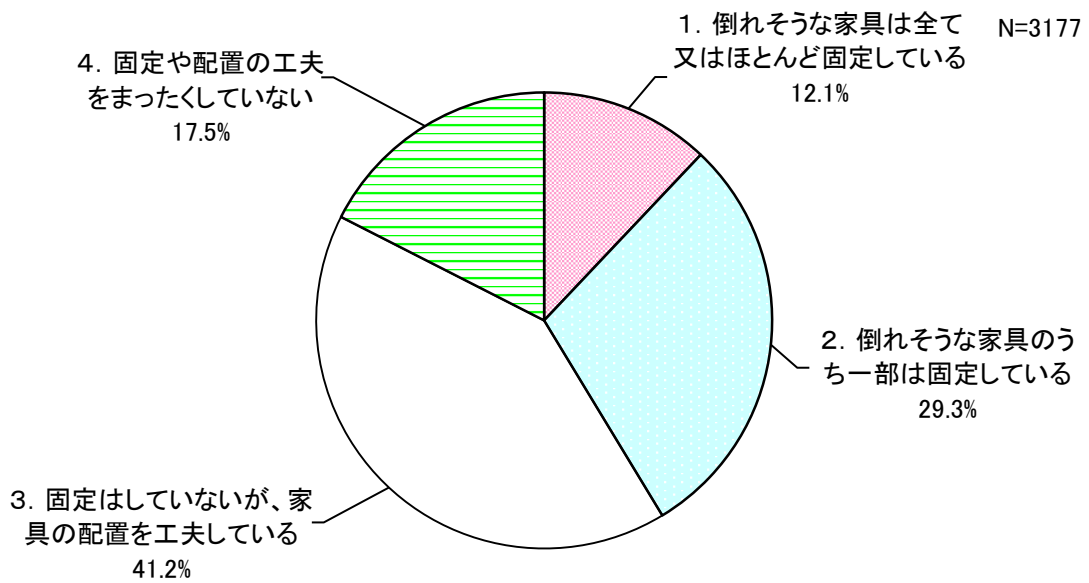
その他

- ・近く備蓄をする予定。
- ・賞味期限・使用期限が切れたまま買い足せていない。
- ・何とかなるだろうという気持ちから。
- ・家族内でコンセンサスが図れない。

問2 食料品以外（携帯ラジオ、照明器具（懐中電灯・ランタンなど）、常備薬、毛布・寝袋など）の備蓄をしていますか。

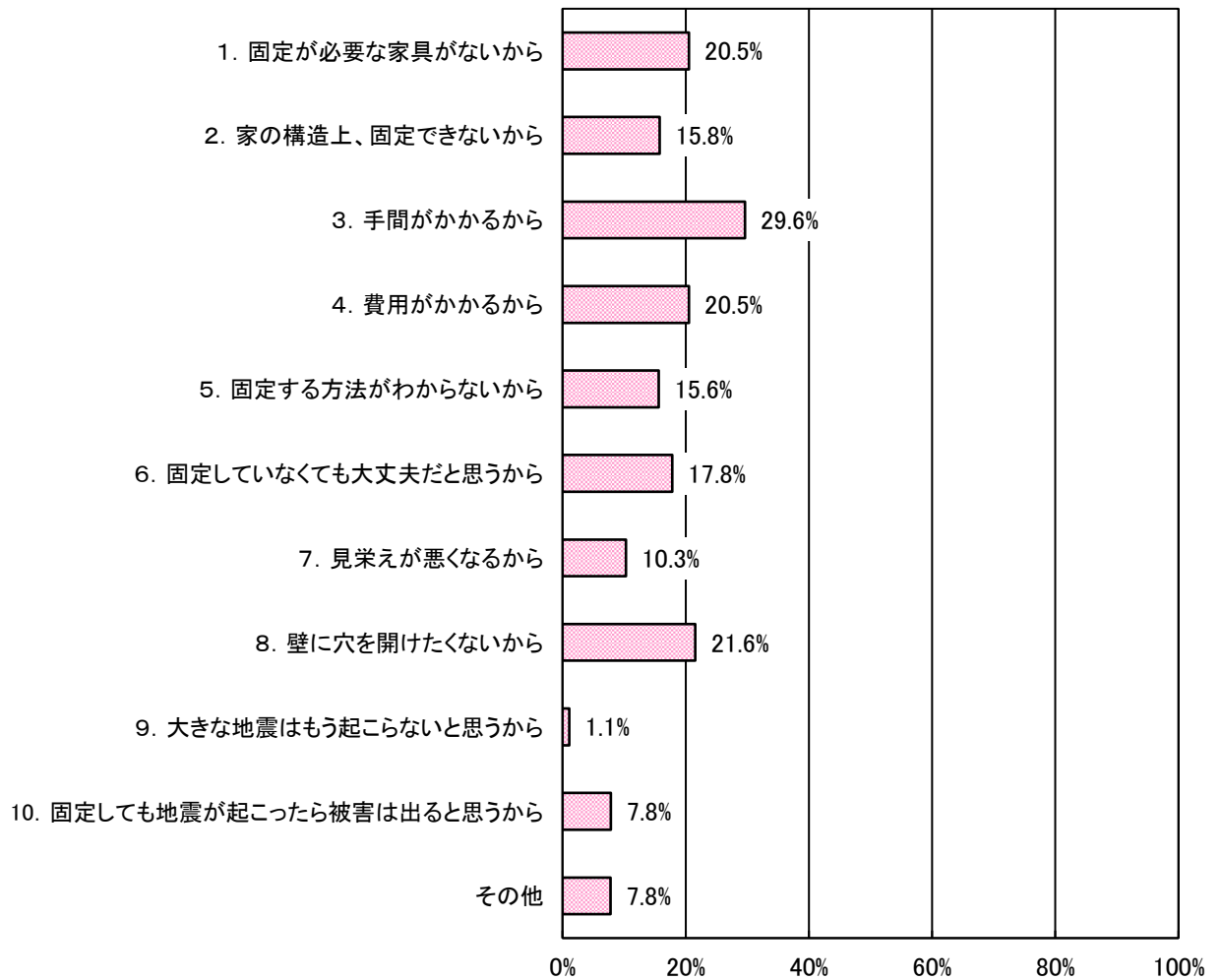


問3 地震が発生した際に、家具が転倒したり移動したりするのを防ぐため、家具の配置を工夫したり固定したりしていますか。



問3-1 家具の固定をしていない理由は何ですか。(該当するものすべて)

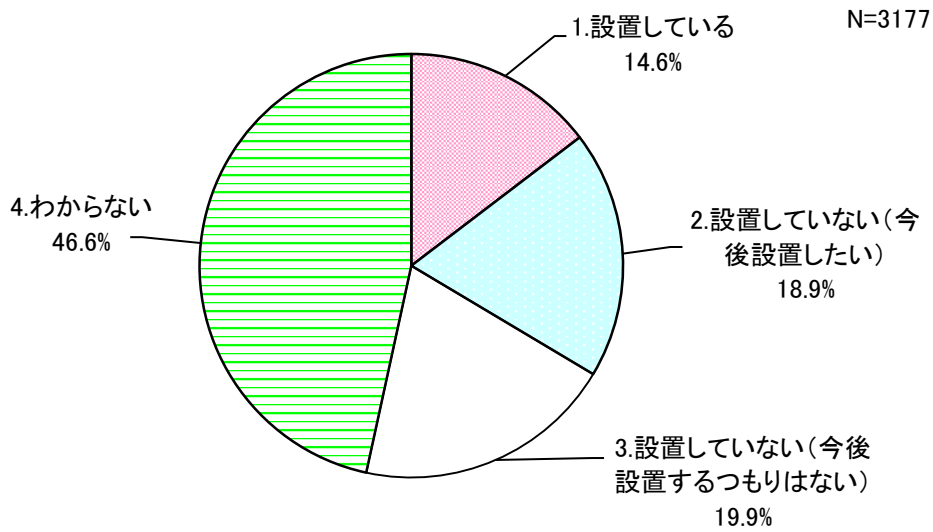
N=1864



その他

- ・しようと思いつながらなかなか実行に移せない。
- ・動かせなくなると、掃除などやりにくくなるので。
- ・位置を移動する可能性があるため。
- ・固定するほどの高さのものがない、そもそも家具を置いていないから。
- ・賃貸の為傷をつけられない。
- ・倒れても命を危険に脅かす場所に設置していないため。
- ・倒れても大丈夫なように家具の配置をしているから。

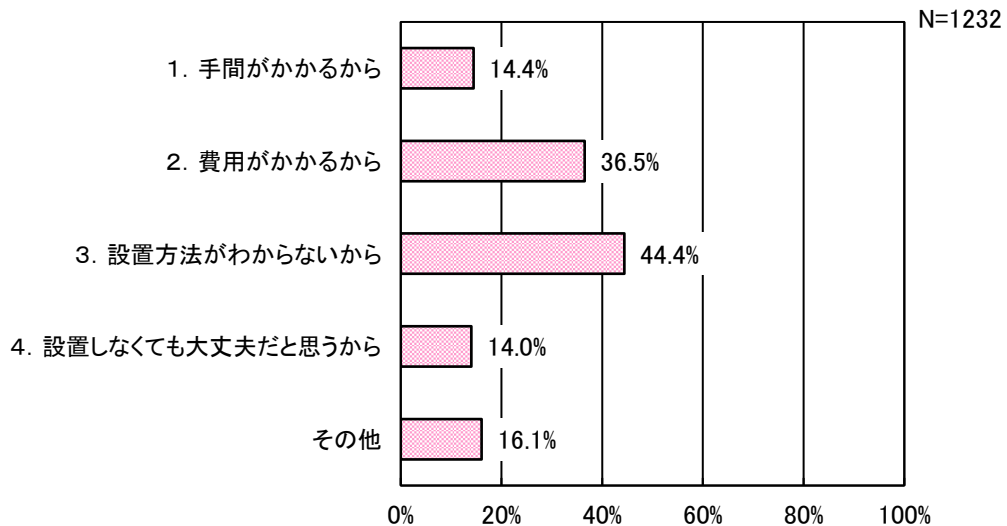
問4 ご自宅では、「感震ブレイカー」を設置していますか。



「感震ブレイカー」について詳しくはこちら

https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/20190408-1.pdf

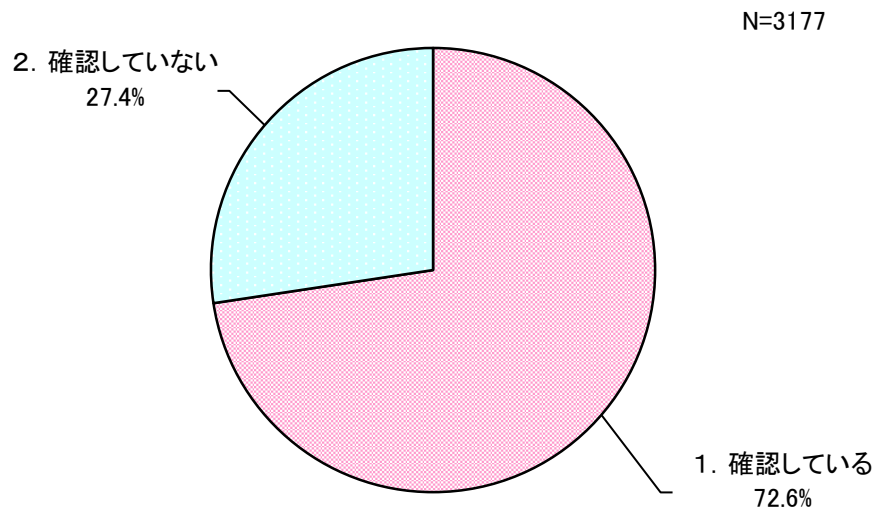
問4-1 「感震ブレイカー」を設置していない理由は何ですか。(該当するものすべて)



その他

- ・よくわからないから。
- ・存在を知らなかった。設置を検討します。
- ・マンションなので個別に設置するのが妥当かどうか判断しかねる。
- ・意識の低下。

問5 災害時の避難行動や避難経路をあらかじめ確認していますか。

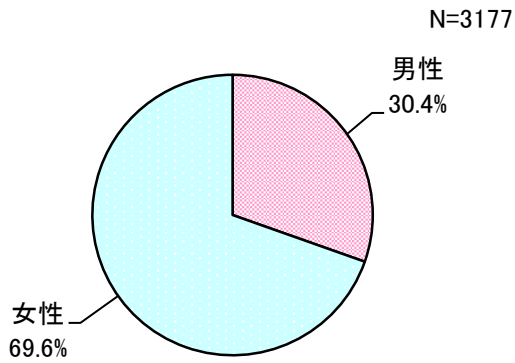


問6 家庭でできる災害への備えについて、ご意見、ご感想があればご入力ください。

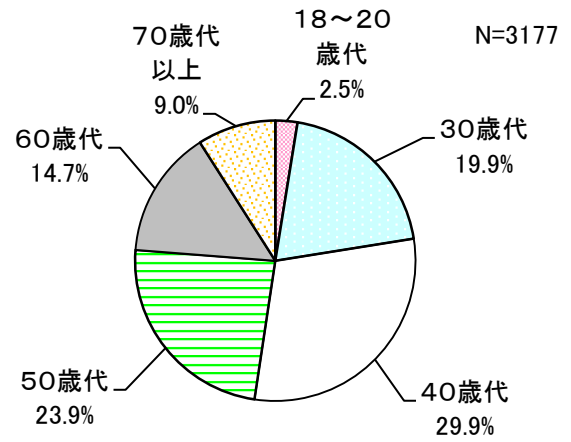
- ・家族で待ち合わせ場所を決めている。
- ・どれくらいのモノが災害時に必要なのか、トイレも含めて、一番不便になった場合の備蓄の量や、置く場所に迷ったりなど、色々まだ不安に思うことが多いのでたくさんの知識を身につけたい、知りたいです。
- ・水やレトルトは普通に常備しているし、持ち出し荷物＝アウトドアグッズの部分が多いです。
- ・ペットの備蓄も必要だと思います。
- ・重度の食物アレルギーのある子供がいるので、避難した際に不自由なことが沢山あると思います、アレルギー対応品の備蓄をしています。災害弱者のことも皆さんにもっと知っていただき、みんなが安心して食べられるものが増えたらいいなと思っています。
- ・何も起こらないと備えも忘れがちですが、こういったアンケートや、広報等で定期的にお知らせしていただくと見直すきっかけになります。
- ・つつい後回しになりがちなのですが、防災の日等動機付けの日に家族で話し合いの日にしたいと思います。
- ・小学校にて防災について学習する授業があり、家庭にて備蓄品や持ち出し用品をチェックしたり準備しました。毎年引き取り訓練もあるので、就学児のいる家庭は防災意識を高く保てると感じます。
- ・先ず3日分の水、そのまま食べられる、缶パンや、お菓子チョコレート、一口サイズの個包装されたお菓子、阪神淡路大震災のときに、キットカット大袋、飴を鞆に入れていたのでとっても役にたった。

全 750 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

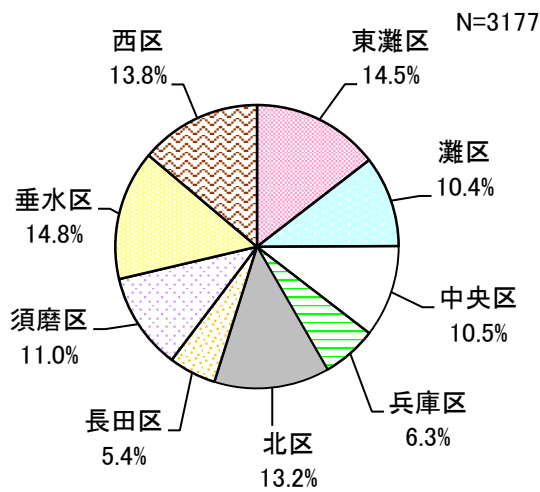
【性別】



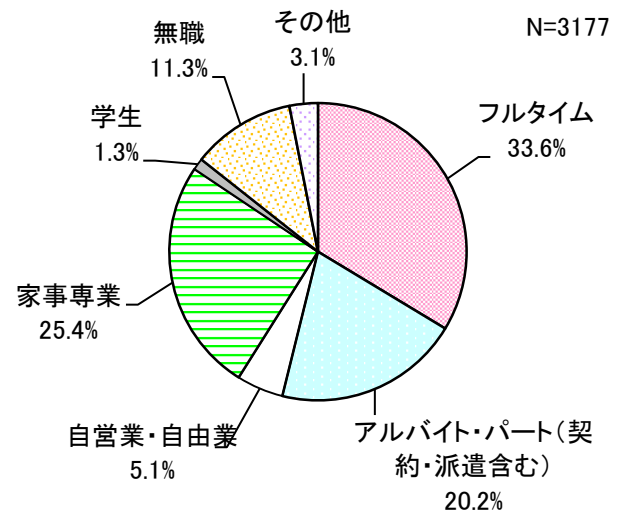
【年代】



【区】



【職業】



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。